

平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	学力充実推進事業費		
予算額	79,700千円	新規・継続の別	継続
事業概要 目的 対象 方法等	1 学力充実・向上システム		
	目的	・現地現場主義に基づく先導的な研究開発や実践研究の推進 ・成果の普及による学力及び教職員の指導力の向上	
	内容	◇学力充実等研究校を選定 自校独自の研究計画による創意ある教育活動を行う研究校の指定等	
	2 小・中学校学力診断テストの実施		
	目的	府内小中学校の児童生徒の学力を客観的にきめ細かく把握することで、個々に対応した指導及び授業改善に役立てる。	
	内容	小学校	中学校
		対象:第4・6学年 教科:国語・算数	対象:第2学年 教科:国語・数学・英語
	3 理科支援員の配置		
	目的	先端科学技術に関する実験の演示・体験活動などによる理科教育の活性化と教員の指導力の向上を図る。	
	内容	小学校に理科支援員を配置し、5・6年生を対象に観察・実験活動等を実施	
	4 振り返り集中学習「ふりスタ」		
	目的	中学1年生の早期に基礎基本を徹底し、学習のつまずきの解消を図る。	
内容	・対象:府内の中学1年生 ・実施時期:中学1年の早い時期(主に4月から8月) ・実施教科:国語、算数等		
5 大学の先生に学ぼう体験事業			
目的	優れた資源を有する大学との連携を図り、未来に向かって夢と希望を持って学ぼうとする児童生徒を育成する。		
内容	<体験授業の実施> 大学からの出前、大学での受入れによる体験授業の実施		
	<物理グランプリの開催> 物理コンテストの開催、物理オリンピック出場に向けた物理チャレンジ道場の実施 <教員研修の実施> 大学での最先端の科学技術等に関する研修(理科系)		
6 「ことばの力」育成プロジェクト			
目的	府立高等学校において、言語力育成に向けた学習指導プログラム(PISA型学力育成プログラム)を開発する。		
内容	PISA型学力育成モデル校において、高等学校新指導要領に対応した活用型学力育成のための指導方法や教材について研究開発を行う。(地歴・公民、理科)		
担当課名	学校教育課 指導第1担当 学校教育課 指導第2担当 高校教育課 指導第2担当	電話番号	075-414-5842 075-414-5840 075-414-5852